

いちのせき

しょうぼう

# 一関の消防



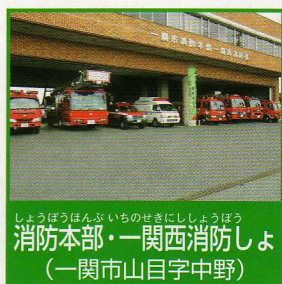
いちのせき し しょうぼうほんぶ

一関市消防本部



# しょうぼう 消防しょのしくみ

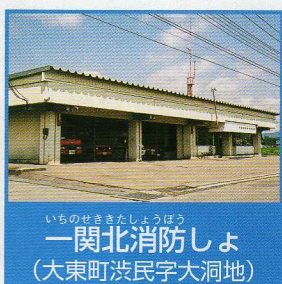
いちのせきししょうぼうほんぶ  
一関市消防本部は、4つの消防しょと5つの分しょ、1つの分遣所があります。  
しょうぼう ぶん ひとつはたら かし ぶんけんしょ  
消防しょや分しょなどで働いている人は約220人で、火事をださないよう頑  
ば かじ お きょうりよく かし け  
張っています。火事が起きたときなどは、協力して火事を消します。けが人が  
びょういん  
でたり病人がでたときは、救急車に乗って病院まで手当てをしながら運んでい  
しょうぼう ぶん ひる よる じかん こうたいせい しごと  
きます。消防しょや分しょでは、昼も夜も(24時間・交代制) 仕事をしています。



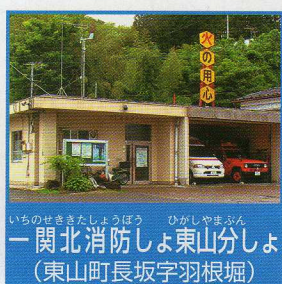
しょうぼうほんぶ いちのせきにしょうぼう  
消防本部・一関西消防しょ  
(一関市山目字中野)



いちのせきにしょうぼう たむらちょうぶんけんしょ  
一関西消防しょ田村町分遣所  
(一関市田村町)



いちのせききたしょうぼう  
一関北消防しょ  
(大東町茨民字大洞地)



いちのせききたしょうぼう ひがしやまぶん  
一関北消防しょ東山分しょ  
(東山町長坂字羽根堀)



いちのせきにしょうぼう ひらいずみぶん  
一関西消防しょ平泉分しょ  
(平泉町平泉字鈴沢)

## 〔管内図〕

かんないじんこう  
管内人口 136,388人  
かんないめんせき  
管内面積 1,319.64km<sup>2</sup>

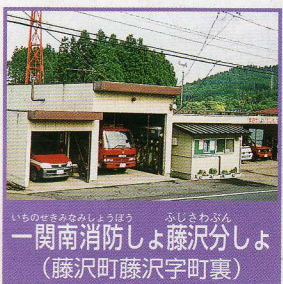


平成24年3月31日現在

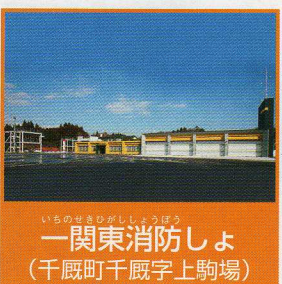
- しょうぼうほんぶ  
消防本部
- しょうぼう  
消防しょ
- ぶん ぶんけんしょ  
分しょ・分遣所



いちのせきみなみしょうぼう  
一関南消防しょ  
(花泉町涌津字下原)



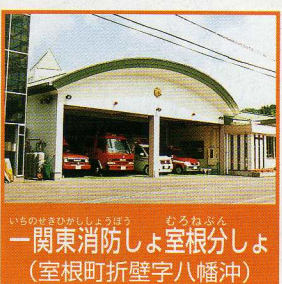
いちのせきみなみしょうぼう ふじさわぶん  
一関南消防しょ藤沢分しょ  
(藤沢町藤沢字町裏)



いちのせきひがししょうぼう  
一関東消防しょ  
(千厩町千厩字上駒場)



いちのせきひがししょうぼう かわさきぶん  
一関東消防しょ川崎分しょ  
(川崎町薄字町裏)



いちのせきひがししょうぼう むろねぶん  
一関東消防しょ室根分しょ  
(室根町折壁字八幡沖)



## 1 火事を消す仕事

火事かじの場所では消防しょうぼうしよの人や、自分の仕事場しごとからかけつける消防団員しょうぼうだんいんが協力きょうりょくして火事かじを消します。

そのほかにも、人や車が近づかないように交通整理こうつうせいりをするけいさつ官かん、ガスや電気でんきでさらに火事かじが大きくなったり、危険きけんがふえたりしないようガスや電気でんきを止めるためガス会社でんりょくや電力会社でんりょくの人がかけつけます。

●けいさつ官



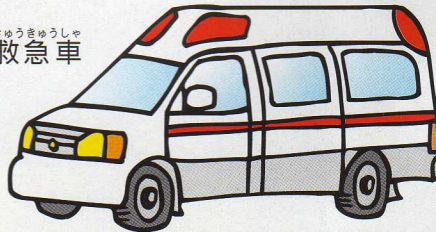
●ガス会社の人たち



●電力会社の人たち



●救急車







## 2 きゅうきゅう しごと 救急の仕事

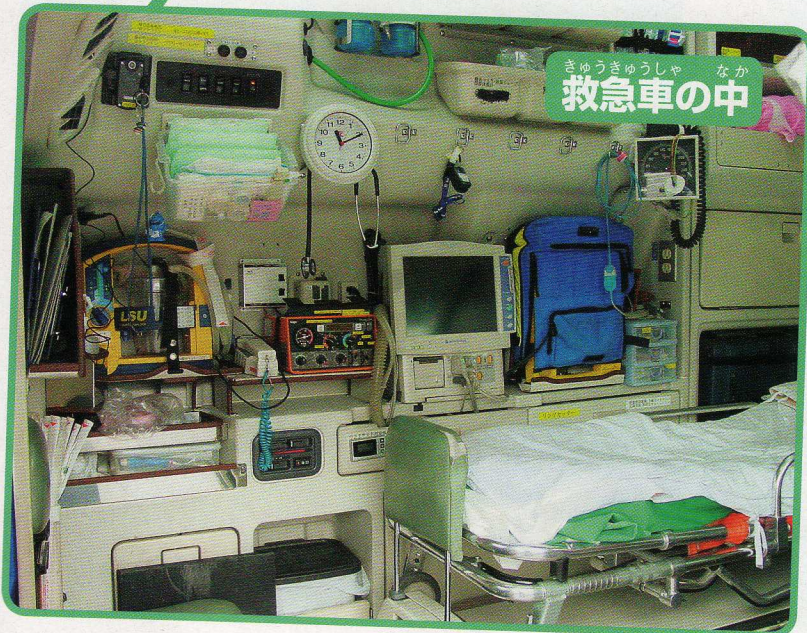
救急は、けがや病気の人を救急救命士などの救急隊員が手当てをして、安全に早く病院にはこぶ仕事です。

そのほか、けがをしている人や心臓が止まった人を助けるための救急法の講習会を開いています。

救急車の中には、心臓の動きを見る心電図や人工的に呼吸ができるようにする人工呼吸器など、人の命を救うための色々な器具があります。



救急車内での訓練



救急法の講習会



### 3 きゅうじょ しごと 救助の仕事

工場で機械にはさまれたり、交通事故で車の中から出ることができない人を、安全に早く助け出す仕事です。このため、救助隊員は色々な訓練をして、救助技術を身に付けます。

また、救助が必要な所へ行くときは、色々な救助器具を積んでいる救助工作車やはしご車でかけつけます。



はしご車は40メートル（ビルの12階）までのばせます。高いビルから人を助けたり、火を消したりします。



救助工作車には、人を助けるために約95種類の器具を積んでいます。





# 4 し ぜん さい が い ま も 自然災害からみなさんを守る

台風などの水害やじしんなどの被害から、みなさんを守ることも消防の仕事です。そのため、水防訓練やこわれた家から人を助け出す訓練をしています。

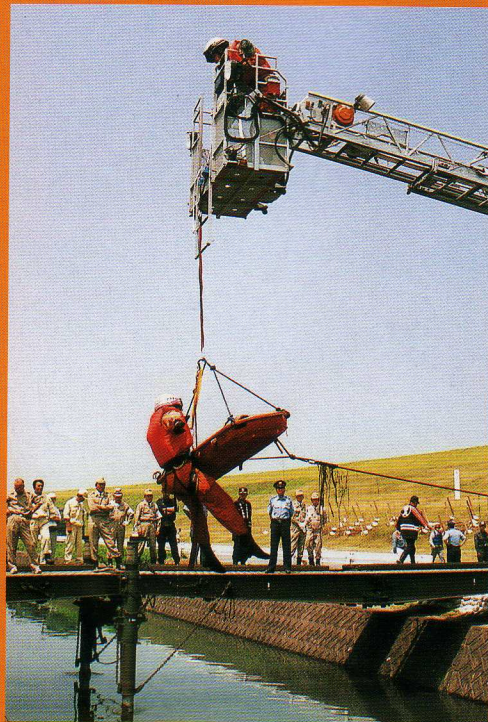
また、消防団の人たちとも一緒に訓練をしています。



ヘリコプターでの救助



ボートでの救助



川でおぼれた人を助ける訓練



堤防を守る訓練



## 5 火事を防ぐために

火事を起こさないようにするのも消防の仕事です。

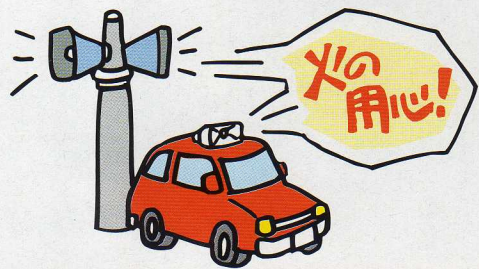
### 立ち入り検査

大きなお店や学校、ガソリンスタンドなど、多くの人が入り出すところや油などを多く持っている場所において、火事を起こさないよう検査します。(消防では「査察」といいます。)



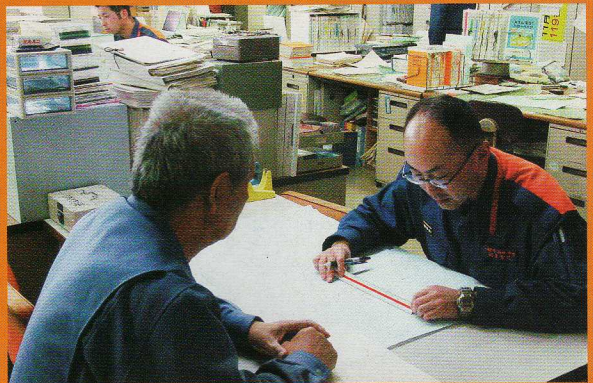
### 広報

パンフレットや広報車、町の中の防災行政無線で火事を起こさないようよびかけます。



### 建物などの指導や相談

多くの人が入り出す建物や多くの油をもつガソリンスタンドをつくるとき、火事にならないよう調べて危険な所はなおしたり、消防の設備をつけてもらいます。



### 火事の原因調査

火事を防ぐため、火事が起きた原因を調べ、同じような火事が起きないようにします。この仕事は、焼けてなにもなくなったあとを調べて火事の原因を見つけ出さなければならないので、たいへんむずかしい仕事です。







## 6 かじ はや け 火事を早く消すために

もし火事が起きたら、きちんと活動できるように訓練をして備えています。

- 学校や病院などで、火を消すことやひなん（にげること）する計画をつくり訓練するように指導しています。
- 消防しょでも、毎日のように火を消すことや人を助ける訓練をくりかえしています。
- 消防車や救急車などを毎日点検し、火事や救急にそなえています。
- 町の中の消火せんや防火水そうがどこにあるか、こわれていないか調べています。
- 道路工事が行われている場所を調べ、消防車が通れるか調べます。



消火せんの点検



救急の訓練



# 4

しょうぼう

# 消防のしせつ

## 1 たてもの なか 建物の中のしせつ

がっこう など かじ 学校などで火事が起きたとき、早く見つけ小さい火のうちに消し、安全にひなんできるようなせているものを消防用設備といいます。



スイッチ

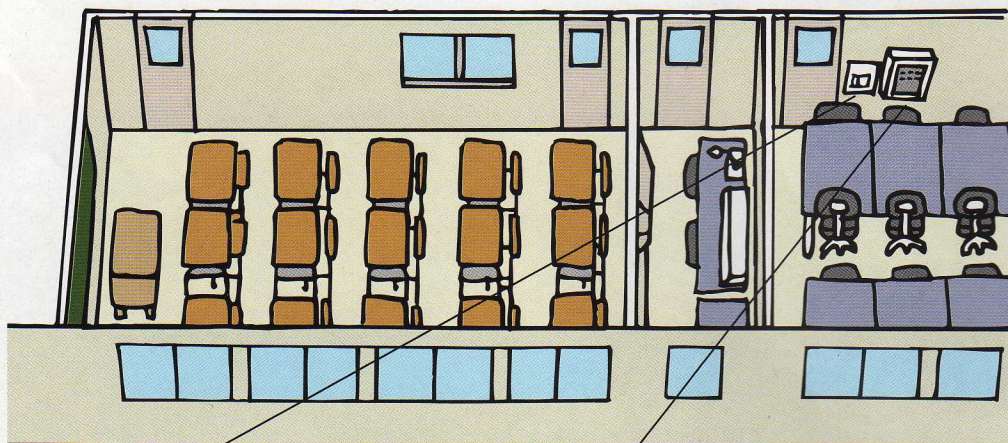
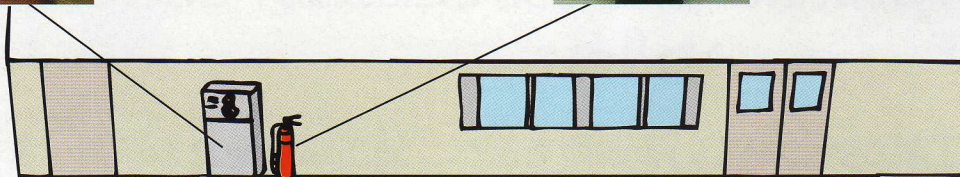
### ■ 屋内消火せん

赤いランプの下のスイッチをお押しするとポンプがまわって水が出ます。そしてスイッチは非常ベルにもなります。



### ■ 消火器

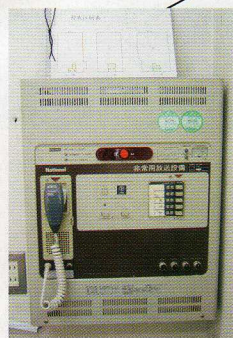
小さな火のうちに消します。みなさんの家にもあると便利です。



きょうしつ 教室

ほうそうしつ 放送室

しよくいんしつ 職員室



### ■ 非常放送設備

たてもの 建物の中にいる人に、火事になったことを早く知らせるものです。サイレンもなります。



### ■ 自動火災 報知設備

けむりや熱で火事を見つけ、ベルをならして知らせてくれます。

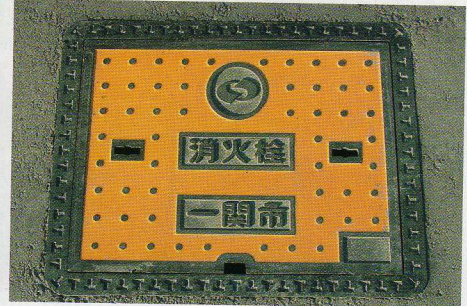




## 2 ち しょうぼう 地いきの消防しせつ

町の中には、<sup>かじ</sup>火事を消すために一番効果がある水をうまく利用できる<sup>しょうか</sup>よう消火せんや<sup>ぼうかすい</sup>防火水そうがあります。

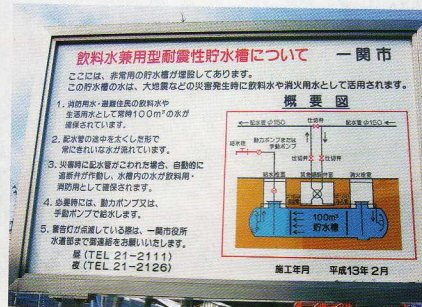
■<sup>しょうか</sup>消火せん <sup>かじ</sup>火事の時、<sup>しょうぼうじどうしゃ</sup>消防自動車がついて水を取り出します。  
太い<sup>すいどうかん</sup>水道管につながっています。



ちじょうしきしょうか  
地上式消火せん

ち かしきしょうか  
地下式消火せん

■<sup>ぼうかすい</sup>防火水そう 土の中に、コンクリートなどで水そうを<sup>つく</sup>造って水をたくわえておきます。  
<sup>だい</sup>大じしんなどでひなんした時に<sup>の</sup>飲み水にもなる、<sup>とくべつ</sup>特別な<sup>ぼうかすい</sup>防火水そうもあります。



かんぱん (特別な水そう)

水そうの水を取り出すところ

## ■<sup>がっこう</sup>学校のプール

<sup>がっこう</sup>学校のプールや<sup>いけ</sup>池などの水も、<sup>かじ</sup>火事を消すときに<sup>つか</sup>使います。







町内会や地区単位で、火事をださないためやじしんがあった時自分たちで協力して火事を消したり、人を助け出したりする取り組みがあります。

## 地域の自主防災組織など

町内会や地区単位で火事やじしんの時協力して消火したり人を助けます。また、婦人消防協力隊はお母さんたちが多く参加し、消防団と協力して活動しています。



婦人消防協力隊訓練

自主防災組織の救出訓練

## 幼年・少年消防クラブ

幼稚園・保育園の子供たちや、小学生を中心としたクラブで、火事を出さないことや火遊びをしないことを学びます。



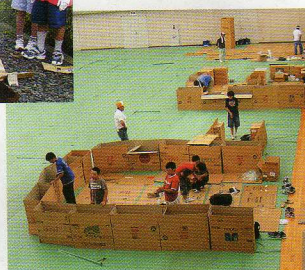
## サバイバルキャンプ

地震などの大きな災害のあと、家が壊れたりして生活ができなくなったことを考えて、避難所（体育館など）で大人や子供、みんなで協力して生活する訓練をします。



まきをたいてご飯をつくれます。

体育館でグループごとに生活するスペース（ご飯を食べたり寝たりする場所）をつくれます。



## 避難所標識

水害（洪水・がけ崩れなど）や地震が起きたときに避難する場所です。一関市では、避難所を地域ごとに安全な場所にある学校などの大きな建物を指定しています。

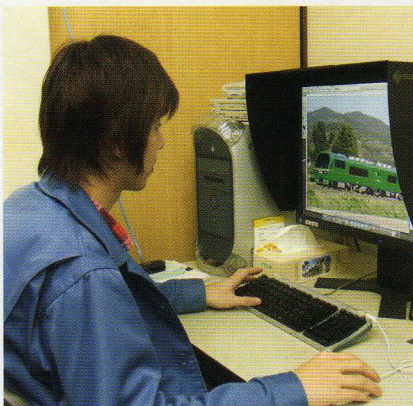






しょうぼうだん  
消防団の人は、その地域ちいきに住んでいたり働はたらいていて、それぞれちがう仕事を持っていて、火事しょうぼうかつどうのときなどに消防活動をする人たちです。

かつどう  
活動

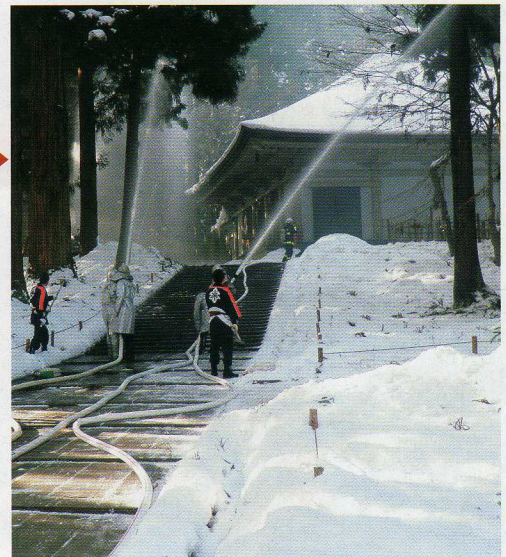


しょうぼうだん  
消防団の人たちは、

「火事だあ」

しょうぼう  
というときには、消防  
しょうぼう  
しよの人たちと協力し  
ぎょうりよく  
て火を消します。

かじ  
火事がないときは自分の仕事をしています。  
(台風で家がこわれたり、がけがくずれそうなときも活やく  
します。)



かじ  
火事などの災害さいがいにそなえて訓練くんれんをしたり、町内をパトロールしたりして、  
みんなのまちから火事かじが起きないように、注意をよびかけています。

しょうぼうだん  
また、消防団員は、消火器しょうかきの使い方を指導しどうしたり、お年寄りの家とじよを訪問ほうもんしたりして、火の用心をよびかけています。